



Leaf

2004年7月30日
盛岡市三本柳6-1-1
盛岡赤十字病院
医事第二課(地域医療連携係)
発行責任者 院長 利部輝雄

盛岡赤十字病院医療連携だより No.3



患者様と病院職員とのふれあいサマーコンサート開催

今回は、職員から出演者を募集した手作りのコンサートです。

7月24日(土)の昼過ぎ、約80人の入院患者様や職員が集まり、待合ホールで開催されました。以前入院なさった方の息子さん(高2)の津軽三味線をはじめ、当院医師、看護師の子どもさんのピアノ、病棟看護師の琴、薬剤師のチェロなどの演奏が心を和ませてくれました。

真夏の午後のひと時、一服の清涼剤になってもらえたのではないのでしょうか。

当院では平成15年10月に新しい理念及び基本方針を制定いたしました。院内各所に掲示しておりますが、今回皆さまにご紹介いたします。従来の理念の制定から長期間経過し、当院を取り巻く環境は大きく変化してきております。当院の急性期病院としての地域での役割と使命を明確にし、職員全員が患者さまの権利を尊重する医療を実践するよう努めてまいります。

基本理念

私たちは、人道・博愛の赤十字精神にもとづき、みなさまの生命と健康を守るために、信頼される医療を実践します。

基本方針

『患者様中心の医療』

私たちは、患者さまの権利と意思を尊重し、十分な説明と同意により患者さま中心の医療を目指します。

『良質な医療の提供』

私たちは、常に医療の質の向上と安全な医療の推進に努め、広く医療従事者の育成に貢献します。

『救急医療と災害救護の充実』

私たちは、救急医療と災害救護活動を積極的に進めます。

『地域との連携』

私たちは、急性期治療を中心に行う病院として、地域の医療・保健・福祉施設と緊密に連携し、地域医療の充実に努めます。

『職員の協調と健全経営』

私たちは、職員の協調と活力ある職場をつくり、経営の健全化により、安定した医療サービスに努めます。

患者さまの権利

当院は、病院の基本理念にもとづいて、患者さまに次のような権利を尊重した医療を提供します。

人権が尊重され、適切な医療を受ける権利

医療上の個人情報(プライバシー)が保護される権利

十分な説明と情報提供をうけた上で、医療行為を自らの意思で選択する権利

病気、検査、治療方法など医療内容について、わかりやすい説明を受け同意したのち、医療を受ける権利
他の医師等の意見(セカンドオピニオン)を求める権利

患者さまへのお願い

患者さまへ適切な医療のために次のことを守っていただきますようお願いいたします。

ご自身の健康状態、診療中に生じた変化、その他健康に関する詳細な情報を医師や看護師等にできるだけ正確にお知らせください。

診療や検査などの医療行為については、自ら理解し、納得したうえで医師や看護師の指示に従ってください。すべての患者さまが適切な医療を受けられるようにするため、診療に関する病院の規則に従ってください。

健診部が発足しました

当院では人間ドックや生活習慣病検診などの健診業務を行っておりますが、従来は各診療科で分担していたところを統括して対応する健診部を発足させました。

受診される皆様の利便性の向上を図り、病気の早期発見のお手伝いをいたします。



鈴木 智之
健診部長

自己紹介

およそ20年、岩手医科大学で救急医療、主に循環器疾患の救急医療を担当し、その後、今年3月までの4年間は岩手社会保険事務局に在籍して、指導医療官として保険医療行政に携わっていました。

救急医療からワンクッションをおいて予防医学・医療へ。どこか遠くに来たような感じもしますが、実際は間近にあって、臨床医学的には源流に一段階遡った分野です。その担う使命は軽くありません。心して、しかし楽しみつつ事に当たって行きたいと思っています。よろしく願いいたします。

研修医紹介

今年度から新しい研修医制度が始まり、当院では3人の医師が2年間の臨床研修を開始しました。医師としての第1歩を踏み出した3人に抱負を語ってもらいました。



加藤 久仁之
医師

皆さんこんにちは。5月から盛岡赤十字病院で研修をしています加藤久仁之と申します。出身は岩手県盛岡市。岩手医科大学卒です。将来は消化器外科医を志望しております。研修が始まって3ヶ月が過ぎましたが、経験も知識も素人同然で糞の役にも立たないザコキャラですが、2年間の研修で多くの事を経験して学びたいと思います。

将来的に「使える」医者になれるように頑張りたいと思いますのでどうか温かく見守ってやってください。



小野寺 美緒
医師

出身：岩手県水沢市
趣味：音楽いろいろ、読書、歩くこと

研修をはじめて3ヶ月ほどが経ちました。病院には慣れてきたものの、初めて経験することや多くの失敗に一喜一憂している日々です。病院のスタッフの皆さんや患者さんにたくさんご迷惑をかけておりますが、様々な場面でご指導いただき、いつも感謝しながら仕事しています。自分の目指すところに少しでも近づけるよう、積極的に努力していきたいと思っています。



加藤 陽一郎
医師

出身：静岡県三島市
趣味：サッカー・釣り・食

盛岡日赤病院に来てから3ヶ月ほどになりましたが、医者としての実感がようやく感じられてきて、一日一日を緊張の中にも楽しさを感じながら過ごしています。今まで国家試験という紙の上で、医者として必要な知識や技術を学んだつもりでいました。しかしながら実際は、患者様とのコミュニケーションや他の先生を始め、まわりの医療スタッフのみなさんとのコミュニケーションもそれ以上に大切なんだと実感しております。

そんな感じで過ごしている研修ですが、少しずつではありますが、患者様と接し、先生方から指導を受けるにつれて、一つ一つの考え方や手技を身につけることに一番の喜びを感じています。

この二年間を将来の自分にとって有意義なものにしたいと思います。これからも御指導の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

CPC：臨床病理カンファランス

新臨床研修制度では、研修期間中にCPCを開催することが義務づけられており、まず7月末に1名の研修医が実施いたします。

連携室からのお知らせ



お盆中の休みはカレンダーどおりです。
8月14日(土)・15日(日)が休診となります。
急患室へ電話で連絡をお願いします。



前号でお知らせいたしました新しい3枚複写の「患者紹介予約用紙・診療情報提供書」は、新しい「診療案内」とともにお送りいたします。今しばらくお待ちください。